4．資本金及び資本剰余金の明細

（単位：円）

区分		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
資本金	政府出資金	14,052,883,551	—	—	14,052,883,551	
	計	14,052,883,551	—	—	14,052,883,551	
資本剰余金	施設費	3,550,985,457	1,332,373,531	—	4,883,358,988	当期増加額は、建物、構築物、機械及び装置、工具、器具及び備品の取得によるものです。
	目的積立金	11,844,070	—	—	11,844,070	
	政府承継	1,872,000	—	—	1,872,000	
	損益外固定資産除売却額	△ 460,933,024	△ 5,346,169	—	△ 466,279,193	当期増加額は建物の除却によるものです。
	計	3,103,768,503	1,327,027,362	—	4,430,795,865	
	損益外減価償却累計額	△ 5,655,454,677	△ 617,442,716	△ 5,009,207	△ 6,267,888,186	当期減少額は建物の除却によるものです。
	損益外減損損失累計額	△ 27,854,709	—	—	△ 27,854,709	
	差引計	△ 2,579,540,883	709,584,646	△ 5,009,207	△ 1,864,947,030	

5．積立金の明細

（単位：円）

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
通則法第44条1項積立金	261,459,675	99,866,800	—	361,326,475	当期増加額は平成22年10月29日に国土交通大臣より承認を得たためです。
前中期目標期間繰越積立金	1,440,901	—	598,060	842,841	当期減少額については、附属明細書の目的積立金等の取崩しの明細をご参照ください。
計	262,900,576	99,866,800	598,060	362,169,316	

6．目的積立金等の取崩しの明細

（単位：円）

区分		金額	摘要
前中期目標期間繰越積立金取崩額	受託関係収入	586,265	前中期目標期間において取得した固定資産の減価償却費相当額の取崩しです。
	自己収入	11,795	
	計	598,060	

7．運営費交付金債務及び当期振替額等の明細

⑴　運営費交付金債務の増減の明細

（単位：円）

交付年度	期首残高	交付金当期交付額	当期振替額				期末残高
			運営費交付金収益	資産見返運営費交付金	資本剰余金	小計	
18年度	2,137,393	—	2,137,393	—	—	2,137,393	—
19年度	21,439	—	21,439	—	—	21,439	—
20年度	60,118,363	—	60,118,363	—	—	60,118,363	—
21年度	23,820,440	—	23,820,440	—	—	23,820,440	—
22年度	—	1,384,770,000	1,355,941,631	28,828,369	—	1,384,770,000	—
合計	86,097,635	1,384,770,000	1,442,039,266	28,828,369	—	1,470,867,635	—

⑵　運営費交付金債務の当期振替額の明細

①　18年度交付分

（単位：円）

区分		金額	内訳
業務達成基準による振替額	運営費交付金収益	—	—（業務達成基準を採用した業務は無い）
	資産見返運営費交付金	—	
	資本剰余金	—	
	計	—	
期間進行基準による振替額	運営費交付金収益	—	—（期間進行基準を採用した業務は無い）
	資産見返運営費交付金	—	
	資本剰余金	—	
	計	—	
費用進行基準による振替額	運営費交付金収益	2,137,393	①費用進行基準を採用した業務：業務達成基準及び期間進行基準を採用した業務はない為、全ての業務 ②当該業務に係る損益等 ア）損益計算書に計上した費用の額：2,137,393円（18年度交付分） （業務費：2,137,393円） イ）自己収入に係る収益計上はありません ウ）固定資産の取得はありません ③運営費交付金の振替額の積算根拠 研究施設の修繕にかかる支出額を限度として収益化
	資産見返運営費交付金	—	
	資本剰余金	—	
	計	2,137,393	
合計		2,137,393	